

### 3. 職業安定局

職業安定局では、国民ひとりひとりがその能力にふさわしい職業に就き、安定した職業生活を送ることができるようにするとともに、企業が必要とする労働力の充足を促進し、経済及び社会の発展を図ることを目的として、雇用政策に関する企画・立案、ハローワークの行う公的職業紹介事業の運営、雇用保険制度の運営等の業務を行っています。

## 求人倍率って知ってる？

皆さんがニュースなどでよく見聞きしたことがある**有効求人倍率**とは

『ハローワークで職を探している人1人あたりに何件の求人募集があるか』

というもの。目標は1倍以上ですが、現在は季節調整値で0.67倍（平成23年10月分）となっています。ちょっと低い・・・ですね。

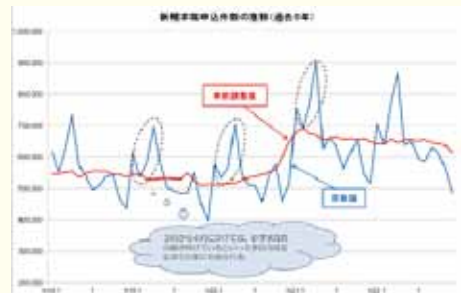
ところで、皆さんは**季節調整**という言葉を知っていますか？

通常3月から4月にかけては、職を探している人の数が他の月より増えます。これは、年度というキリのいい時期に退職して、次の新たな職場を探す人が多いためです。そのため、この時期に職を探している人の数と、他の月の人の数をそのまま比較して、「上がった! 下がった!」と一喜一憂するのは、早合点というわけです。

このように毎月の数値には、季節変動という要因が含まれています。毎月の数値がどういう意味を持っているかを分析する際に、前月の数値との比較をすることがありますが、そのままの数値ではなく、計算によって季節要因を取り除いて、前月の数値と比較可能な数値を算出するのが季節調整というもの。

数理職の仕事として、季節調整値を算出し、その動きを分析することがこの職業安定局での重要な仕事のひとつとなっています。ちなみに、季節調整の数式を書くと、こんな感じです。

$$\phi_p(B)\Phi_p(1-B)^d(1-B^s)^p\left(y_t - \sum_i \beta_i x_{it}\right) = \theta_q(B)\Theta_q(B^s)a_t$$



これだけでは、全然分かりませんよね。疑問に思ったり、関心を持ったりした方は是非、将来の職場として厚生労働省に!

### 有効求人倍率の動きを見て…

失業率の動きも合わせてみると、雇用情勢が景気の動きに反応していることが分かりますね。景気が良くなってくれば仕事がたくさん出てくるので求人数が増え、求人倍率も上がります。そうなると思えばいい状態ですが、今は決していいとは言えないですね…。

### 資料を作成して…

世の中に公表する資料を作成して、その後は、幹部や大臣に説明した上で公表となります。また、政治家に雇用情勢の説明に行くことがあります。テレビでしか見たことがない政治家の方々と直接会うことができるチャンスです^^b

職業安定局の  
ツバ-2です



雇用政策課 中央労働市場情報官  
古屋 裕文（平成16年入省）

## 数理職員は、こんな業務にも携わっています!

### 東日本大震災に関する雇用対策

東日本大震災では、職を失われた方への就労支援や雇用創出を迅速かつ効果的に行う必要があるため、各省庁でばらばらに実施している対策をひとつにまとめて総合的な対策として実施しました。


この対策は、被災者の仕事と暮らしを支えるため、仕事を創出し、仕事を探している人とつなぎ、その雇用を維持・確保することを柱としています。

他省庁、他部局との情報交換や全国にある労働局との意見交換などをして、正確な情報発信ときめ細やかな対応が求められます。


様々な組織の方と一緒に仕事をするのは、大変なこともあります。ですが、できあがった時はこれまでの大変さや苦勞が吹き飛びました!

この総合的な対策を  
“日本はひとつ”しごとプロジェクト  
と名付けました!

大臣の肝いり  
です!



総額10兆円以上!  
70万人以上の雇用創出効果!



日本はひとつ  
しごとプロジェクト

こんなマークを  
作りました!  
見たことある?

### 雇用創出基金事業

毎日、名古屋城にて観光客のお出迎え・観光案内・記念撮影などの「おもてなし」を行っている『名古屋おもてなし武将隊』（写真）は、名古屋の魅力を全国に伝えるため、名古屋にゆかりのある武将6人（織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・加藤清正・前田利家・前田慶次）と4陣笠隊で結成されました。この武将隊のメンバーは、国の「雇用創出基金事業」を活用して、雇用された失業者たちです。

雇用創出基金事業は、各自治体が地域の実情や創意工夫に基づき実施し、地域の雇用創出を図るもので、これまでになんと1兆円以上の予算が使われています。

この事業は、上の欄で紹介した「日本はひとつ」しごとプロジェクトの中でも重要な施策のひとつとなっています!

各都道府県への配分については、客観的なデータに基づき説明する必要がありますが、地域の雇用失業情勢の分析力などが重要になります。まさに、数理職員と地域雇用対策が結びつく瞬間と言えるでしょう。



### 国際関係業務のとりまとめと参加

職業安定局の業務で国際関係の仕事?と思うかもしれませんが、実は、数理職のいる雇用政策課では、海外出張に行けるチャンスがある数少ない課なのです。

主な仕事としては、ILOやOECDなど国際機関から日本の雇用に関する資料作成の依頼や会議の出席要請の対応などがあり、関係する部署から情報を得てとりまとめを行います。

また、日本のハローワークについて興味を持った国や機関から視察団が来日することがありますが、その際に視察可能なハローワークと打ち合わせをしたり、業務説明をする人を選定したりといろいろな調整をする必要があります。

英語がしゃべられなくても大丈夫? 心配はいりません。メールでのやりとりが多いので、英語がしゃべられなくても問題ありません。もちろんしゃべれた方

が世界は広がりますよ!

もう一つ重要な仕事として、日本はハローワークを持つ国が集まり、様々な経済・社会の変化に対してハローワークにどのような役割を持たせていくかを話し合う機関（「WAPES」といいます）に加盟しています。定例の会議に参加することが求められていて、年に数回の海外出張に行きます。

AMSEP WAPES AMSPE



世界で80カ国  
以上が参加  
しています!